

様式チ(10.2 関係)

給水管(分岐・撤去)工事 主任技術者チェック表

● チェック表は、本復旧までの工事記録写真帳に工事施工図(掘削・道路復旧予定図)とともに綴り込み、提出すること。

水 栓 番 号		施 行 主	
工 事 場 所			
施 工 日	年 月 日 ()	チェック時間	: ~ :
道 路 占 用 No.	第 号 工事期間	年 月 日 ~	年 月 日
道 路 使 用 No.	第 号 使用期間	年 月 日 ~	年 月 日
チェック項目			評 定
道 路 使 用 許 可 等	「掘削及び道路復旧予定図」(設計図)を携帯しているか、掘削位置に間違いはないか。		
	道路使用許可証を携帯しているか。		
	工事標示板・迂回標示板の記載内容は適正か。		
	「通行止め」実施時に、迂回標示板を設置しているか。		
	交通誘導員は道路使用許可条件どおりに配置しているか。		
	歩行者通路の確保は適正か。歩行者の誘導は適切に行なわれているか。		
掘 削 ・ 復 旧	カッターを使用しているか。掘削は所定の形状か。土留工は適正か。		
	覆工板のバタツキ、ズレ、段差はないか。		
	在来路面と仮復旧路面に段差が生じていないか。		
	仮復旧後、路側帯等の仮標示は適切か。		
せん 孔 ・ 配 管	管種(モルタルライニング管又は粉体塗装管)に応じた穿孔ドリルを使用しているか。		
	使用器材・配管材料は適正か。		
	穿孔状況(特に铸铁管の切粉の排出)は適正か。撤去状況は適正か。		
	コアの挿入は適正か。		
	配管状況及び埋設深度は適正か。		
	耐圧試験を行い、漏水がないことを確認したか。(分水から第一止水栓までは 0.75MPa)		
	給水管取り出し後、水質確認(残留塩素濃度測定)を行ったか。		
他	取り出し後、分岐及び仕切弁の位置、配管寸法・深度・掘削面積を実測し、記録したか。		
	工事区域の清掃は適切か。		

※ 評定は「○」印によりチェックする。なお、未施工等、評定に該当しない項目には「／」を記入する。

※ 不適正な場合、該当項目に「×」印を記入する。

※ 太枠線内の「穿孔・配管」は、主任技術者が必ずチェックすること。その他の項目は現場責任者でも可とする。

給水装置主任技術者

印

指定給水装置工事事業者名